

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組例」

学校名	広島市立三入小学校	校長氏名	西岡 恵美子	生徒指導主事氏名	池永 亮二
<b>取組事例名 『みんなでファイト2015』</b>					
<b>取組のねらい『心をつに 思い出作り』</b>					
○1年生から6年生まで新しい友達をつくって仲良くなるろう。 ○クイズに挑戦し、みんなで楽しい時間を過ごそう。					
<b>取組の具体的内容『みんな仲良し 縦割り班活動』</b>					
○内容：校内にクイズやゲームの場所を設定し、縦割りグループで回る。 ○グループ作り：1年生から6年生まで10人程度のグループを作る。 ○集会に向けての実施計画					
1次 教室で顔合わせをし、自己紹介。次回の長縄練習計画をし、簡単なゲームをする。(1時間)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生は1年生を迎えに行く。</li> <li>・リーダー、副リーダーを決める。グループ遊びの時は、副リーダーは1年生を迎えに行くこと、リーダーは先に集合場所で待つことを確認。リーダーは持ってきたバインダーに解答用紙をはさんでおく。リーダーは、うちわとバインダーを持って帰る。5分前に終了し、教室へ戻る。6年生は1年生を送る。</li> </ul>					
2次 長縄跳び練習タイム（グループ遊び）：拡大昼休憩を使って（約30分）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場に全員集合する。</li> <li>・リーダーはうちわを持って並ぶ。副リーダーは1年生を迎えに行く。</li> </ul>					
3次 長縄跳び記録会（グループ遊び）					
4次 児童集会（2時間）					
〔先生の役割分担〕					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア担当はきちんと班で行動している班へ得点を与える。</li> <li>・各クラスは教室前に、担任外は所定の位置に3択クイズを考えて掲示する。</li> <li>・クイズの回答欄やゲームの内容と場所を書いたワークシートを使って全館を回る。</li> </ul>					
〔運営委員会が考えたゲーム〕					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョークしりとり・ジェスチャー・キャラあて・運だめし</li> <li>・ストラックアウト・パズル・オセロ</li> </ul>					
〔児童の感想〕					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お兄ちゃんやお姉ちゃん達とゲームができて楽しかった。</li> <li>・困っている時、やさしく声をかけてくれてうれしかった。</li> <li>・みんなが暴れたり文句をいったりしてとても大変だった。でも、みんなが喜んでくれてやりがいがあった。</li> <li>・みんながしっかり楽しめる内容のゲームを考えたので、よかった。</li> <li>・集会は大成功だと思った。準備を手伝ってくれたり真剣に説明を聞いてくれたりしてやりやすかった。</li> </ul>					
5次 児童朝会で高得点のグループを表彰する。					
6次 グループ遊び「長縄跳び」：12月2回、1月1回の計3回					

### 取組の課題・創意工夫『みんなが楽しめ、たくさん回れるように』

- 限られた時間内でたくさん回れるように運営委員会は、短時間に班の全員が協力して楽しめる内容のゲームを考えた。
- 活動中はBGMを流し、楽しい雰囲気にするようにした。
- 同じ場所にグループが集まらないように、スタート場所を指定した。
- 空いている場所を校内放送で伝えた。
- グループで持ち歩く解答用紙（得点用紙）には、班の活動を振り返り、書く箇所を設けた。
  - ① 仲良くできましたか。②こまったとがあったら書いてください。③楽しかったゲームを書いてください。

### 取組の成果（効果）『笑顔の花が咲いた』

- 年に一度の児童会行事。長年やっているだけに楽しみにしている児童も多い。本校での異学年交流は、登校班、児童集会、生活科（1年と2年）、1年生の給食配膳や掃除の手伝い、歓迎遠足（1年と6年）、運動会での表現運動（3年と4年、5年と6年）等である。
- いろいろな人と繋がる喜びを味わう体験活動となっている。友達と分かり合える楽しさが実感できる体験活動と相互交流の工夫を行うことで、コミュニケーション力を育むことができる。

### 今後の展開『異学年交流で自尊感情を育む』

- 地域の子ども会がなくなってきている現状からこの異学年交流は継続していきたい。
- 異学年交流をする中で高学年は、リーダーシップを発揮しながら自分への気づきが増え、自分のよい所を伸ばすことができる。
- 多様な人との関わりを通して、自分が周りの人に役に立っていることや周りの人の存在の大きさに気づくようになる。高学年として自尊感情を育むことができる貴重な場であると考えている。

### 他校へのアドバイス『時間をかけずに仲間づくり』

- クラスや学校に関するクイズを解いて回るクイズラリーが主体であるので準備に時間がかからず、クラスや学校のことを学べるよさがある。
- 運営委員会がゲーム担当をするので、指導がいきとどきやすい。
- 児童集会での縦割り班を活用して冬場の長縄跳び遊びができる。